

(別紙2)

令和3年度上期「米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンター」モニタリング評価表  
〔令和4年1月〕

施設名	米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンター	
施設所管課	市民生活部 環境政策課	
指定管理者名	団体名	公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団
	所在地	米子市彦名新田 665
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
選定方法	非公募	
施設の設置目的	市民の自然環境に関する意識の向上を図るため。	
主な実施事業	<p>設置目的を達成するため、下記の事業を行う。</p> <p>(1)野生鳥類等の観察並びに野生鳥類等及び自然環境に関する学習活動のための利用に供すること。</p> <p>(2)野生鳥類等及び自然環境に関する資料の収集及び展示を行うこと。</p> <p>(3)野生鳥類等の生態に係る調査及び研究を行うこと。</p> <p>(4)前3号に掲げるもののほか、市民の自然環境に関する意識の向上を図るために必要な事業</p>	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認 (60点)</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査により確認：効率的な人員配置により業務を行っている。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	A	資料等で確認：学会への参加、講師派遣等により資質向上に努めている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料等で確認：HPや公園だよりの活用、マスコミへの情報発信を積極的に行っている。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	資料等で確認
(2)利用者の要望把握	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	A	資料等で確認：利用者か

握等	るか		らの意見に適切に対応している。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等で確認
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料等で確認：基準で定められた業務以外に、自主的に清掃・維持業務を実施している。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等で確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査、資料等で確認：建物の機能維持のため、適切な営繕を実施している。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料等で確認 運営上得た個人情報は施錠できるロッカーで保管している。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・聴取等により確認：市と情報共有し、方針の具体化に努めている。
<b>II サービスの質の評価 (25点)</b>			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料等で確認：利用者アンケートではスタッフの親切かつ丁寧な対応に対し高い評価を得た。 また、アンケートより意見・苦情を拝見し、速やかに改善をおこなっている。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	立入調査により確認

3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	資料等で確認：コロナ対策を行いつつ慎重にイベントを実施し、来館者数の大幅減少を防いだ。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	資料等で確認：施設の特性を活かし、野鳥等に関する展示、環境学習、調査研究等が実施されている。

### Ⅲ サービスの安定性の評価 (15点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料等で確認
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料等で確認
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4		

<p>【総評 (所管課評価)】</p> <p>設置目的を達成するために概ね計画どおりに事業を実施し、利用者から良好な評価を得ている。</p> <p>8月16日から8月31日まで観察ホールエアコン設置工事のため休館。</p> <p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策を行いつつ慎重にイベント、環境学習事業等を実施しており、利用促進のみならず、自然環境に関する意識の普及啓発に努めた。</p> <p>総合的に、良好な運営を行っているものと評価する。</p>	<p>合計点 (65)点 / (85)点 ×100 = (76)</p> <p>平均点 (3.8)点</p>
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)

C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)

D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は、評価を行った確認方法 (例：立入調査、台帳確認、資料等確認) と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

1 利用状況

項目	本年度〔令和3年4～9月〕 A	前年度〔令和2年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	142	137	5、103.6 (%)	
施設利用者数	6,046	4,983	1,063、121.3 (%)	前年度4,5,6月は特に新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、多数のイベントが中止となり、入館者数の減少も顕著であったため。
施設稼働率	77.6	74.9	2.7、103.6 (%)	
事業開催数	58	32	26、181.3 (%)	前年度4,5,6月は特に新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、多数のイベントが中止となり、入館者数の減少も顕著であったため。

2 事業収支

(1) 収入

(単位：千円)

項目	本年度〔令和3年4～9月〕 A	前年度〔令和2年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	422	419	3、100.7 (%)	
指定管理料	25,092	22,715	2,377、110.5 (%)	
自主事業収入	0	0	0、0 (%)	
その他	0	0	0、0 (%)	
合計	25,514	23,134		

(2) 支出

(単位：千円)

項目	本年度〔令和3年4～9月〕 A	前年度〔令和2年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	19,591	19,285	306、101.6 (%)	
消耗品費	218	734	-516、29.7 (%)	新型コロナウイルス感染症対策に係る消耗品について、昨年度購入分

				の物品による対応を行ったため。
修繕費	131	156	-25、84.0 (%)	
光熱水費	873	925	-52、94.4 (%)	
租税公課	0	0	0、0 (%)	
委託費	1,220	968	252、126.0 (%)	前年度は10月上旬に支出した委託費を今年度は9月末日に支出したため。
その他	507	1,013	-506、50.0 (%)	備品等に係る支出について、該当期間内の支出が不要であったため。
合 計	22,540	23,081		

### 3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和3年4～9月〕 A	前年度〔令和2年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
① 事業収支	2,974千円	53千円	2,921千円、5611.3(%)	
② 利用料金比率	1.7%	1.8%	-0.1%、94.4(%)	
③ 人件費比率	86.9%	83.6%	3.3%、103.9(%)	
④外部委託費比率	5.4%	4.2%	1.2%、128.6(%)	
⑤利用者当たり管理コスト	3.7千円	4.6千円	-0.9千円 80.4(%)	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	4.2千円	4.6千円	-0.4千円、91.3(%)	

#### ①事業収支：(収入-支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

#### ②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

#### ③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

#### ④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

#### ⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

#### ⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

### 4 団体等の経営状況(年度ごと下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成〇〇年	平成〇〇年	平成〇〇年	平成〇〇年	令和〇〇年	備考
①自己資本比率						
②流動比率						
③固定長期適合率						
④総資産経常利益率						
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

#### ①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率（\%）} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

#### ②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率（\%）} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

#### ③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率（\%）} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

#### ④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

■貸借対照表（例）

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	400	買掛金	400
受取手形	500	短期借入金	300
有価証券	200	流動負債合計	700
流動資産合計	1,100	固定負債	
固定資産		社債	300
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200
土地	500	固定負債合計	500
投資有価証券	200	負債合計	1,200
固定資産合計	900	【純資産の部】	
		資本金	600
		利益余剰金	200
		純資産合計	800
資産合計	2,000	負債純資産合計	2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

条例改正による開館時間と年間パスポート代金の変更について、市の指導によりホームページ・施設報（公園だより）で告知するとともに園内の看板の書き換えを行った。

利用者からの直接の苦情はなかったが、下記「6 利用者アンケートの結果」における双眼鏡の清掃については、要望があった時点で即時に対応した。また、望遠鏡については、毎朝職員で清掃を行っている。花壇の除草については業者が除草作業を年3回（4月・7月・11月）実施している。この間隔が空いているため、7月の除草作業は本アンケートの後に業者により作業が行われた。

6 利用者アンケートの結果

- ・水鳥の観察をする時に色々教えていただき詳しく知ることが出来て良かったです。
- ・とても楽しかったです。また、遊びたいです。
- ・館内が涼しくてとても居心地が良かったです。メガネのお兄さんの説明が丁寧で好感を持ちました。ものごしが柔らかく素敵でした。



吉田さんとてっちゃんのラブストーリーに心奪われ、鳥って面白いなと思いました。ありがとうございます。

- ・常に双眼鏡を掃除して欲しい。
- ・正門から建物までの花壇に草が生えており、見た目が悪いと思います。(7月分アンケートより)